

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・後期・A群	
	対象学科・専攻	電気電子工学科	
情報基礎 II (Fundamentals of Information Processing II)	担当教員	永井 翠 (Nagai, Midori)	
	教員室	電気電子工学科棟2階(Tel. 42-9074)	
	E-Mail	nagai@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位		
週あたりの学習時間と回数	授業(100分)×15回		
[本科目の目標] 主にWindowsを用いて、文書作成・表計算・プレゼンテーションといった主要なソフトウェアの基本的な操作法を修得する。			
[本科目の位置付け] 本科目は各種実験実習、卒業研究など、情報端末を用いた報告・発表を要する科目の基本となる。			
[学習上の留意点] 本科目は演習が主である。これからのエンジニアはコンピュータが扱えることが必須となっているため、学生諸君には、積極的に講義に参加し、各種情報端末に慣れ親しむことを要望する。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. ワードプロセッサによる文書の作成	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワープロソフト画面の各部の名称および機能を理解できる。</li> <li>ワープロソフトを用いて、文書の編集、フォント、文字サイズ、罫線、書式、文書スタイルの設定ができる。</li> <li>画像や図形の挿入や、ヘッダ・フッタの設定が行える。</li> </ul>	ワードプロセッサについて、図書館の文献やインターネットを使って概略を勉強しておく。
2. 表計算ソフトによる表、グラフの作成	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフト画面の各部の名称および機能を理解できる。</li> <li>データの編集やセルの編集を行うことができる。</li> <li>データを参照した計算式や関数の概念を理解し、表計算を行うことができる。</li> <li>データを指定してグラフを作成し、体裁などを変更することができる。</li> </ul>	表計算ソフトについて、図書館の文献やインターネットを使って概略を勉強しておく。
3. プレゼンテーションソフトによる効果的なプレゼン資料の作成	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレゼンテーションソフト画面の各部の名称および機能を理解できる。</li> <li>プレゼンテーションの計画、話す内容の展開、資料収集、資料作成、発表準備など発表にいたる作業の流れを理解できる。</li> <li>文字や図形などを用いたスライドを作成し、デザインや装飾、アニメーションを設定することができる。</li> <li>作成したスライドを操作し、的確に表示することができる。</li> </ul>	プレゼンテーションソフトについて、図書館の文献やインターネットを使って概略を勉強しておく。
--- 後期期末試験 ---		授業項目1～3について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違った部分を理解出来る	

